



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,494	△3.2	91	224.9	187	132.0	48	111.3
2019年3月期第1四半期	13,936	5.3	28	△38.6	80	△45.7	22	△90.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △265百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △135百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.98	—
2019年3月期第1四半期	0.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	65,016	31,473	48.2
2019年3月期	67,320	31,900	47.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 31,343百万円 2019年3月期 31,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,600	4.1	750	52.8	850	43.1	600	40.7	24.61
通期	60,000	3.3	1,800	23.1	2,000	31.6	1,400	20.7	57.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	24,733,466 株	2019年3月期	24,733,466 株
2020年3月期1Q	356,699 株	2019年3月期	356,549 株
2020年3月期1Q	24,376,876 株	2019年3月期1Q	24,366,923 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえのない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、ホスピタルプロダクツ ビジネスユニットでは輸液・栄養領域を、サージカル&セラピー ビジネスユニットでは透析領域及び外科治療領域を、ブラッドマネジメント&セルセラピー ビジネスユニットでは血液・細胞領域を中心にそれぞれ事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ4億42百万円減少の134億94百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。利益につきましては、減収影響はあるものの、原価率の改善により、営業利益は91百万円（前年同四半期比224.9%増）となりました。また、持分法による投資利益の計上などにより、経常利益は1億87百万円（前年同四半期比132.0%増）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円（前年同四半期比111.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

(日本)

薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」の販売が拡大したものの、前年同四半期に保険適用拡大を受けて好調であった摂食嚥下関連用品の販売が減少したため、売上高は95億15百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。また、セグメント利益については、減収影響はあるものの、子会社からの受取配当金の増加により、2億57百万円（前年同四半期比476.9%増）となりました。

(シンガポール)

北米向けの成分献血用回路の販売が好調に推移したものの、南アジア向けの血液バッグや輸液セットの販売が減少したため、売上高は45億53百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。また、セグメント利益については、原価率の改善により、2億47百万円（前年同四半期比76.7%増）となりました。

(中国)

フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットの販売が減少したため、売上高は6億67百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。また、セグメント損益については、減収影響により、前年同四半期に比べ9百万円減少の10百万円の損失となりました。

(フィリピン)

日本向けの輸液セットの販売が増加したため、売上高は6億39百万円（前年同四半期比97.0%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果により、前年同四半期に比べ60百万円改善の69百万円の損失となりました。

(ドイツ)

血液バッグの販売が増加したため、売上高は7億89百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。また、セグメント利益については、為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価の増加により、53百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

(その他)

売上高は12億89百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億4百万円減少の650億16百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22億50百万円減少の354億98百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済により、現金及び預金が減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少の295億18百万円となりました。この主な要因は、補助金にかかる未収入金の受取により、投資その他の資産が減少したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9億87百万円減少の216億75百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済により、短期借入金が減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億89百万円減少の118億67百万円となりました。この主な要因は、流動負債への振替により、長期借入金が減少したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億27百万円減少の314億73百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇の48.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、2019年5月10日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,081	5,252
受取手形及び売掛金	15,846	15,106
有価証券	149	143
商品及び製品	7,777	7,897
仕掛品	2,433	2,712
原材料及び貯蔵品	3,624	3,557
その他	867	860
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	37,748	35,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,413	8,381
機械装置及び運搬具（純額）	7,643	7,494
その他（純額）	7,356	8,320
有形固定資産合計	23,413	24,196
無形固定資産	503	467
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,665	4,865
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	5,654	4,854
固定資産合計	29,571	29,518
資産合計	67,320	65,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,808	8,626
短期借入金	4,220	3,457
1年内返済予定の長期借入金	3,483	3,348
未払法人税等	379	316
賞与引当金	1,075	560
その他	4,695	5,365
流動負債合計	22,663	21,675
固定負債		
長期借入金	10,626	9,457
役員退職慰労引当金	106	104
退職給付に係る負債	775	763
資産除去債務	141	137
その他	1,107	1,405
固定負債合計	12,756	11,867
負債合計	35,420	33,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	14,323	14,216
自己株式	△276	△276
株主資本合計	31,821	31,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	293
為替換算調整勘定	△353	△664
その他の包括利益累計額合計	△56	△370
非支配株主持分	135	130
純資産合計	31,900	31,473
負債純資産合計	67,320	65,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	13,936	13,494
売上原価	10,482	10,040
売上総利益	3,454	3,454
販売費及び一般管理費	3,425	3,362
営業利益	28	91
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	21	23
持分法による投資利益	105	94
補助金収入	8	49
その他	22	34
営業外収益合計	160	207
営業外費用		
支払利息	47	49
為替差損	55	54
その他	5	8
営業外費用合計	108	111
経常利益	80	187
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産廃棄損	20	0
特別損失合計	20	0
税金等調整前四半期純利益	63	187
法人税、住民税及び事業税	89	93
法人税等調整額	△51	44
法人税等合計	38	138
四半期純利益	24	49
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	48

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	24	49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△3
為替換算調整勘定	△121	△310
その他の包括利益合計	△160	△314
四半期包括利益	△135	△265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136	△260
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外連結子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。

これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、リース債務は、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しており、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。また、流動資産の「その他」、「無形固定資産」、「投資その他の資産」に含めていた一部の資産については使用権資産への振替を行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の資産においては、有形固定資産の「その他(純額)」が11億80百万円、流動負債の「その他」が93百万円、固定負債の「その他」が3億41百万円それぞれ増加し、流動資産の「その他」が14百万円、「無形固定資産」が25百万円、「投資その他の資産」が7億6百万円それぞれ減少しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(在外連結子会社におけるASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識することが求められており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

なお、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,439	2,196	331	—	788	12,755	1,180	13,936
セグメント間の内部 売上高又は振替高	771	2,457	427	324	0	3,980	—	3,980
計	10,210	4,653	759	324	788	16,736	1,180	17,917
セグメント利益又は損失(△)	44	140	△0	△129	57	111	48	160

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	111
「その他」の区分の利益又は損失(△)	48
セグメント間取引消去	△156
持分法投資利益又は損失(△)	106
その他の調整額	△29
四半期連結損益計算書の経常利益	80

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,757	2,326	329	1	789	12,204	1,289	13,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	758	2,226	338	637	0	3,961	—	3,961
計	9,515	4,553	667	639	789	16,165	1,289	17,455
セグメント利益又は損失(△)	257	247	△10	△69	53	479	45	525

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	479
「その他」の区分の利益又は損失(△)	45
セグメント間取引消去	△442
持分法投資利益又は損失(△)	94
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の経常利益	187

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「ドイツ」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第1四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。